

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2016年1月調査結果-

調査要領

- 調査期間 2016年1月7日～15日
- 調査対象 200社
- 回答企業 113社
- 回収率 56.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の1月の状況を見ると業況DIは、前月より3.6ポイント悪化の▲33.6。

2014年4月以来22ヶ月連続マイナス水準で推移している。

業種別では、建設業、卸売業、サービス業の3業種において悪化した。

※向こう3か月の先行き見通し業況DIは▲30.1と当月に比べ3.5ポイント回復を見込んでいる。

業種別でみると、建設業、小売業、サービス業の3業種において回復が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	先行き見通し 2～4月
業況	▲15.1	▲24.1	▲27.9	▲37.1	▲30.0	▲33.6	▲30.1
売上	2.3	▲13.4	▲18.1	▲42.9	▲20.0	▲28.4	▲30.9
採算	▲8.1	▲16.0	▲23.8	▲37.1	▲30.0	▲29.2	▲26.5
仕入単価	▲37.2	▲33.9	▲32.7	▲33.3	▲26.0	▲20.6	▲16.1
従業員	20.9	25.9	25.7	18.1	21.0	15.9	20.3
資金繰り	▲4.6	▲6.3	▲9.5	▲17.1	▲14.0	▲12.4	▲13.3

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	先行き見通し 2～4月
建設	▲27.8	▲35.0	▲40.9	▲21.7	▲30.5	▲54.6	▲50.0
製造	▲10.0	▲20.7	▲14.8	▲27.6	▲23.1	▲14.3	▲14.3
卸売	▲15.0	▲26.1	▲30.4	▲42.9	▲30.0	▲33.3	▲33.3
小売	▲40.0	▲42.1	▲55.6	▲70.6	▲52.6	▲47.6	▲42.8
サービス	23.1	0.0	7.1	▲33.3	▲8.3	▲22.2	▲11.1

今月のトピックス（業界の声）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・公共工事は減少傾向、資材関係価格は安定してきたものの高止まり傾向が続いている。補正予算の執行に期待したい。 ・今後の仕事が見えていません。本州も仕事の始まりが遅くなっている様です。 ・当月は、受注状況の悪化から大工工事は休業としている。翌月以降も改善が見込めない状況にあります。 ・業者により受注残高のばらつきが大きくなりつつある。
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・民需・官需いずれも当社製造品目全般で市場が縮小している。 ・様子見 ・従業員の不足が深刻であり、今後外国人雇用等、早急な対策が必要であり、注文は多いが受入が制約されている。 ・12 月売上高減少傾向で心配するも、ここに来て持ち直してきている。ただ、正式発注が遅れ遅れの状況続き、納期に間に合わすのに外注依存度が高くなってきている傾向にあり、利益率は減少。 ・既存の得意先は横ばいであるが、新規の顧客が売上に大きく貢献。 ・引き続き受注は好調。くい打ちデータ改ざん問題等の影響により、物件数は減少傾向にある。 ・既存取引先からの受注減をカバーできていない。今月に限らず中長期的に、紙離れの影響がベースにあると認識している。1 月は 12 月の反動で例年受注が落ち込む月です。
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・石油製品の仕入単価は、原油価格の下落により値下がり傾向にあり、当面は続くものと思われます。 ・前年度と同等位の業況 ・売上・利益とも昨年同比ダウン。年度末にかけてもこの状態は続きそう。 ・土木に関しては公共事業の発注に業況が変動するので今年度は厳しい状況と判断。又仕入材料（鉄製品）に関しては今、手持ちの品は高騰時の商品が多いと思うので逆に悪化要因になっていると思われる。
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・正月商戦については前年に比べ 1 日短かったため、売上面の動きが鈍かった。 ・初売りセール時期だけに立ち上がりは集客も多く良いスタートが切れたが、例年と違い落ち着くのが早く、月全体で見るとやや厳しめ。今まではセール時だとトータルで購入されるお客様が多かったが、昨今はアイテムを厳選して決め打ちでこられる客層が増え、客単価低下もマイナス要因になっている。 ・例年通り稼働日数が少なく商品も動かない。 ・4 WD ハイブリッド車の新型プリウスの販売はあるものの、競合も激しく利益率の低下が懸念される。
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・本格的な降雪期に入り路面状況が悪化する中、安全運航に努めています。定時・安全運行にご理解ご協力お願い致します。 ・市内駅を中心に大型ホテルが出来、わがリネンサプライ業者は忙しい新年を迎えました。又、3 月中旬に部屋数 320 床、お客様 500 名を越えるルートインがオープンとなり、忙しい年になりそう。 ・土木関連業界の大型車輛の稼働が悪い。 ・北海道新幹線、札幌延伸に伴い仕事はあるが受注につなげられない。 ・1 月に関して急激に宿泊の動きが悪い。多少インバウンド頼みもあったが、これも悪い。2 月の春節に合わせて動きが激しくなるが、この時期だけは満室に。昨年から見ると重油の価格が半分ぐらいになっているので経費の面では助かります。但し人材不足は痛感します。 ・昨年は駅前イオン OPEN に伴う関係者の宿泊が大量に発生。本来はこれらの特需が無く、さらには新規ホテルが OPEN することで、マーケットは価格競争に陥り、苦戦予想。 ・宿泊は非常に厳しい。旭川市内への滞在動機を皆で考えなくてはと日々思っております。 ・ユーザーの車離れ—保有台数減少。車検、板金塗装大幅に減少。 ・正月の日並び悪く、中旬も宴会等不調な市内景気になりそう？ 道内外大雪影響も響き、売上・収益昨年並み。道内外大雪影響も響き、売上・収益昨年並。

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	売上 DI14.8 ポイント悪化、採算 DI2.8 ポイント回復、仕入単価 DI23.8 ポイント悪化、資金 DI0.8 ポイント悪化、従業員 DI は 8.3 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 24.1 ポイント悪化となった。業種別では、建築 10 ポイント回復。総合工事 20 ポイント、設備その他 50 ポイント悪化となった。公共工事は減少傾向、資材関係価格は安定してきたもの、高止まり傾向が続いている。補正予算の執行に期待したいとの声も寄せられている。
製造業	売上 DI3.0 ポイント悪化、採算 DI2.2 ポイント悪化、仕入単価 DI0.6 ポイント回復、資金 DI11.6 ポイント回復、従業員 DI12.7 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 8.8 ポイント回復となった。業種別では、食料品、金属窯業他横ばい。印刷出版 13 ポイント、家具木材 33 ポイント回復となった。既存の得意先は横ばいであるが、新規の顧客が売上に大きく貢献との声も寄せられている。
卸売業	売上 DI29.2 ポイント悪化、採算 DI23.3 ポイント悪化、仕入単価 DI18.3 ポイント回復、資金 DI3.3 ポイント悪化、従業員 DI2.5 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 3.3 ポイント悪化となった。業種別では、繊維 50 ポイント回復、食料品 4 ポイント、機械鋼材 13 ポイント、その他 11 ポイント悪化となった。石油製品の仕入単価は、原油価格の下落による値下り傾向にあり、当面は続くものと思われるとの声も寄せられている。
小売業	売上 DI11.3 ポイント回復、採算 DI20.4 ポイント回復、仕入単価 DI31.6 ポイント回復、資金 DI1.3 ポイント悪化、従業員 DI は 7.3 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 5.0 ポイント回復となった。業種別では、食料品 17 ポイント、その他 3 ポイント悪化、衣料品横ばい、自動車 43 ポイント回復となった。初売セールにより立ち上がりは集客も多く良いスタートが切れたが、例年より落ち着くのが早く、全体ではやや厳しめとの声も寄せられている。
サービス業	売上 DI13.9 ポイント悪化、採算 DI5.6 ポイント回復、仕入単価 DI5.6 ポイント回復、資金 DI8.4 ポイント悪化、従業員 DI2.8 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 13.9 ポイント悪化となった。業種別ではクリーニング 200 ポイント、その他 25 ポイント回復。飲食横ばい。ホテル 83 ポイント、整備業 33 ポイント、運送 50 ポイント悪化となった。1 月に関して急激に宿泊の動きが悪い。多少インバウンド頼みもあったが、これも悪いとの声も寄せられている。